

話題 其の45: “衰えて行く日本の精神文化: 久米的考察”

日本の精神文化って何?

と聞かれても自信を持って「〇〇です」と説明できないのですが、前回書いた日本の経済発展の理由を背景にして、「経済発展を支えた日本人の特徴」という視点から私なりの感想を書いてみます。

但し、長崎で生まれ育ち、職業訓練校を卒業して17才の時から尼崎で働き始め、働きながら夜間の学校に通った久米篤憲という一人の男が巡り会った多くの人たちを通して感じ取った日本の精神文化であり、その後の海外生活で出会った日本人以外の人々との比較です。まず、日本人の特徴として、

- n) 礼儀正しい(挨拶に限ってはネパール、ヨルダンの方が上かな?)
- o) 勤勉(真面目に辛抱強く努力する)である
- p) 責任感が強い
- q) 協調性がある(集団活動が上手に出来る)
- r) 創造性が豊かである
- x) 器用である
- y) 目上の人を尊重する
- z) 感謝の気持ちを忘れない(ありがたいことです と言う喜ばしい時の口癖)

さて、こんな日本人が皆さんの回りに沢山居ますか、減ったでしょう。それは何故?

- A) 子ども達の遊びが変わり、潜在的に持っている運動能力やセンスを引き出せない、伸ばせない
もっぱら家の中でテレビゲームに熱中(実体験から疑似体験へ)
遊びを楽しむ為の工夫が少なくなった(応用力や創造性の低下)
集団で遊ぶことも少ない(塾通いの影響もある)ので協調性が無くなる
青空の下に居る時間が少なく開放的な精神の育成を阻害している
(自然への興味や観察力や判断力の低下が視野を狭くする)
- B) インターネットの普及で情報過多になり独創的な思考力が低下した(IT環境に依存する)
- C) 便利な世の中で仕事量(動き)が小さくなった
様々な道具や器具が開発され、掃除や調理など子どものお手伝いの場も少ない
パソコンが欠かせない仕事が多くて人との係わりが減った(対人スキルの低下)
- D) 教育が道徳的なものより知識詰め込みタイプになっている=受験への競争心理を煽るもの
- E) お金で殆どのものが手に入り、拝金主義的な価値観がまかり通る=金さえあれば……。
- F) 拝金主義に便乗した悪徳ビジネスや援助交際などが盛んになりモラルが低下する

これらのn) からz) に有るような勤勉で真面目な大人たちが A) から F) の時代の急激な変化についていけなくなり、異文化ともいえる青少年達(自らの子どもも含めて)を扱いきれないでいる。

真面目であれば有るだけ自分を責め、行き場を無くして「南無阿弥陀仏」と念じて西方浄土という楽園を目指す。念仏は、戦乱や飢饉に襲われた鎌倉時代に栄えた宗教で、「辛いけど希望をもって生きよ」と教えます。従って人々は耐え、向上心を持ちます。そうやって勤勉な日本人が増えました。しかし、リストラや企業破綻で希望を無くした真面目な中高年は「この地(状況)を去って彼処に行かん」と欲する。この最終手段を実行してしまうのです。

でも、キリスト教徒の多いフィリピンは少し違うようです。苦しい家計を助ける為に売春している女性に「そんなことして辛くないか?」と聞いたことがあります。彼女曰く「当然辛いけど、次の日曜日に教会に行って懺悔するから大丈夫よ」と応えました。その時「この娘はパソコンのようにリセットボタンを持っている」と感心し、「宗教が人を自殺から救っている」と思いました。

問題は、命を救われた後の長い人生をどの様に過ごすか? です。(悪い誘いには乗ってませんよ~)

庶民の暮らしには「今更、昔のようには戻せない」という落胆的な諦めが漂ってませんか。

その他、地球環境の破壊も私たちが直面する大きな問題です。幸い、心有る人たちは立ち上がっています。この時代の変化はイスラム社会でも同様で「今の内に人々にモラルの回復を」と願ってイスラム原理主義が復興しつつあるような気がします。

さて、日本で復興させるべき精神文化の根本とは何でしょう?

次回は「ものづくり」という観点から日本の危機を考えてみます。(硬くなりますが……)
